

2021年度「野生生物と社会」学会 総会 次第

日時：2021年11月6日（土）12:30～13:30

Zoom を用いたオンライン開催

1. 会長挨拶（鈴木会長）
2. 【議決事項 1】2020年度事業報告・決算報告および監査報告（資料 1：事務局、監事）
3. 【議決事項 2】2021年度事業計画・予算計画（資料 2：事務局）
4. 【報告事項 3、4】学術誌およびフォーラム誌発行状況（資料 3、4：各誌編集委員長）
5. 【報告事項 5、6】活動報告：青年部会、行政研究部会（資料 5、6：各部会長）
6. 【報告事項 7】野生動物管理コアカリキュラムについて（資料 7：鈴木会長）
7. 【報告事項 8】環境社会学会との相互連携について（事務局）
8. 【その他】次年度大会について（事務局）

資料1

2020年度「野生生物と社会」学会事業報告・会計報告

2020年度末会員数：473名（詳細は次頁および資料3を参照）

1. 会議

理事会	2020年 5月24日	オンライン会議
	2020年12月19日	オンライン会議
総会	2020年12月19日	オンライン会議

2. 大会

第26回大会 2020年11月21日-11月23日 岐阜大学 ※2021年に延期

3. 学会誌等

学術誌	2020年通年	8巻発行
	2021年 3月	8巻冊子体発行（希望者のみ有償配布）
フォーラム誌	2020年 8月	25巻1号発行
	2021年 3月	25巻2号発行

4. 部会活動等

青年部会	2020年10月	官民学による野生生物問題への取り組みwithコロナ
	2021年 1月	空間スケールに応じた野生動物管理の在り方
行政研究部会	2021年 3月	鳥獣行政最前線への専門的人材の必要性 ～全国の「鳥獣専門員」の活動から～

5. 表彰

若手奨励賞	久保 雄広	会員（国立環境研究所）
	桜井 良	会員（立命館大学）

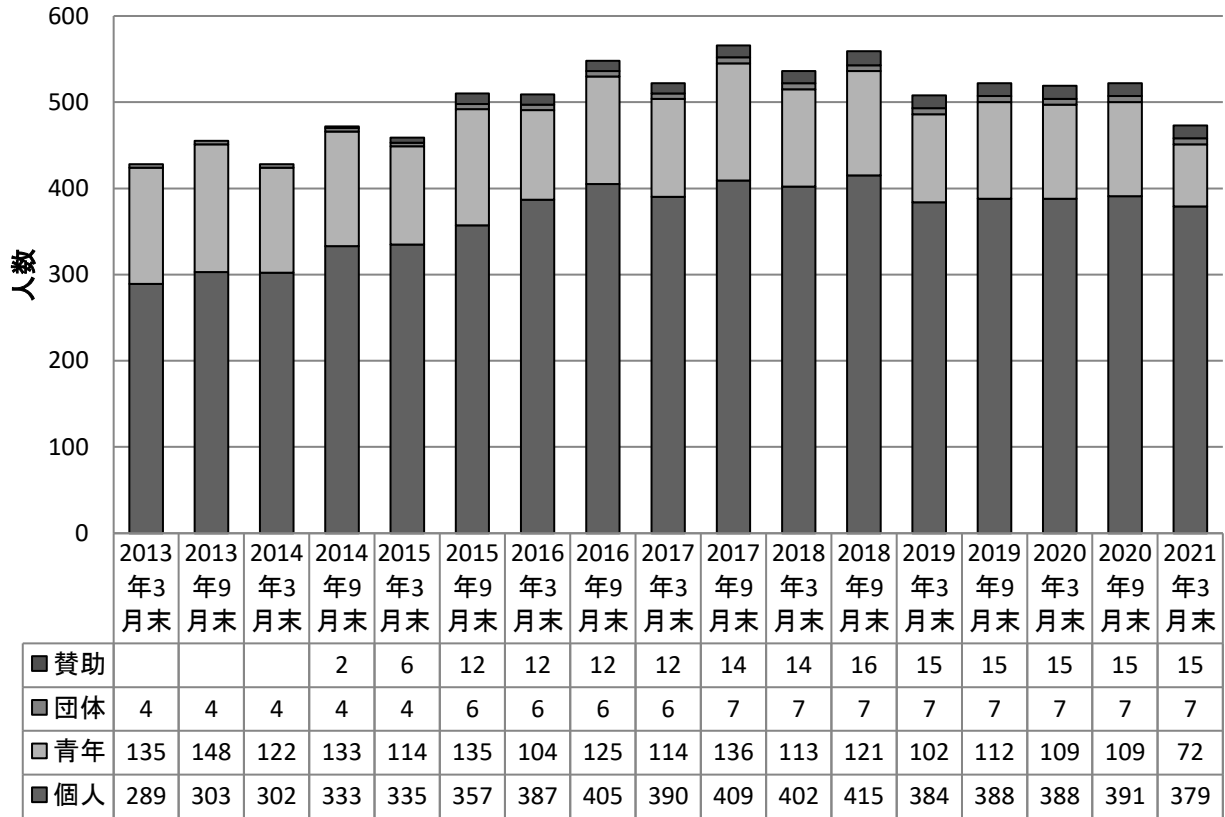
6. その他

2020年 9月 都市出没のイノシシ対応に関する学会声明
2020年10、11月 日本学術振興会会員任命拒否に関する学会声明①、②
共同利用・共同研究拠点申請の文科省宛要望書提出2件（京都大、鹿児島大）

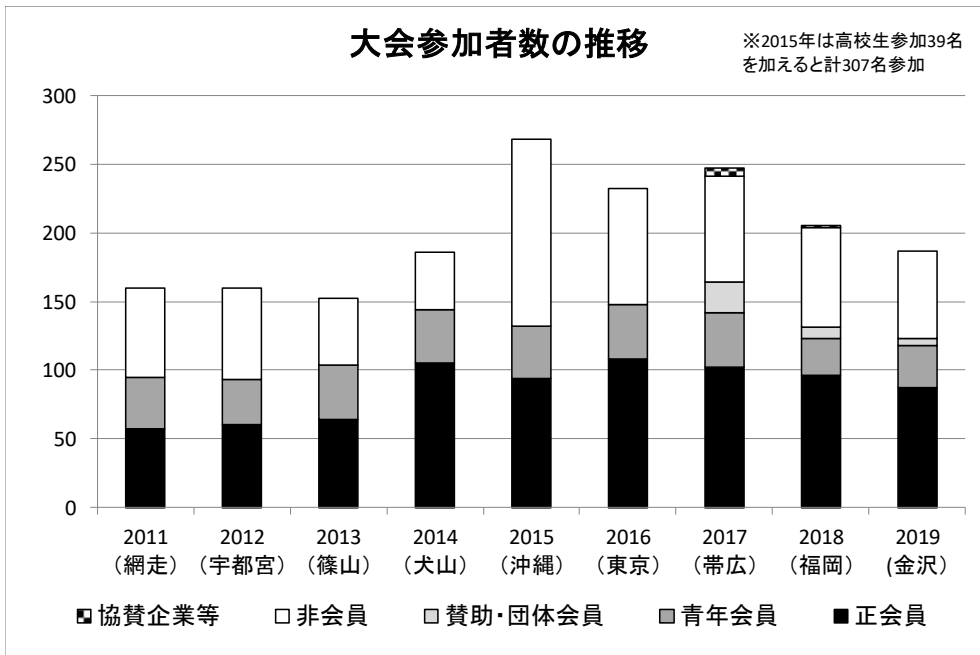
資料 1

2013年（名称変更）以降の会員数の推移

「野生生物と社会」学会 会員数の推移



最近の大会参加者数の推移（2017年度より集計区分を細分化）



資料 1

「野生物と社会」学会 2020年度 会計報告書 (2020年4月1日～2021年3月31日)

【 1. 収支計算書 】

単位:円

科目	予算額	前期	後期	決算額	増減 (決算-予算)	備考
		4/1～9/30	10/1～3/31	(前期後期合計)		
会費収入 合計	4,285,000	534,000	3,470,000	4,004,000	△ 281,000	
～前年度会費	100,000	68,000	52,000	120,000		
当年度会費	1,000,000	396,000	292,000	688,000		
次年度会費	3,185,000	70,000	3,126,000	3,196,000		
雑収入 合計	15,010	10,922	13	10,935	△ 4,075	
電子図書著作権料	0	0	0	0		
バックナンバー・別刷	10,000	10,910	0	10,910		
預金利子	10	12	13	25		
その他	5,000	0	0	0		
フォーラム誌関係収入	226,000	22,087	204,917	227,004	1,004	
F誌売上	10,000	4,087	6,917	11,004		
F誌広告	216,000	18,000	198,000	216,000		
大会会計繰戻金	0	0	0	0	0	
当期収入合計(A)	4,526,010	567,009	3,674,930	4,241,939	△ 284,071	
前年度繰越額	3,776,846	3,776,846	0	3,776,846	0	
収入合計(B)	8,302,856	4,343,855	3,674,930	8,018,785	△ 284,071	

科目	当初予算額	前期	後期	決算額	増減 (決算-予算)	備考
		4/1～9/30	10/1～3/31	(前期後期合計)		
会誌発行費 合計	1,320,000	465,033	797,704	1,262,737	△ 57,263	
総合誌印刷費	150,000	0	154,000	154,000		有償配布分
F誌制作費	1,000,000	462,000	513,700	975,700		
総合誌編集事務費	70,000	3,033	99,204	102,237		8巻制作費、英文校閲
総合編集会議旅費	0	0	0	0		オンライン会議に変更
F誌編集会議旅費	0	0	0	0		オンライン会議に変更
J-Stage登載料	100,000	0	30,800	30,800		
会誌発送関係費	100,000	40,551	47,679	88,230	△ 11,770	学会誌8巻、F誌
事務局運営費	300,000	8,247	149,122	157,369	△ 142,631	コピー代、郵送料、会誌保管料等
委託料	1,660,000	610,500	1,050,500	1,661,000	1,000	
会員業務	440,000	220,000	220,000	440,000		
事務局設置費	55,000	27,500	27,500	55,000		
会計業務	650,000	330,000	330,000	660,000		
フォーラム誌投稿窓口	65,000	33,000	33,000	66,000		
編集業務	450,000	0	440,000	440,000		
青年部会費	200,000	0	0	0	△ 200,000	
行政部会費	150,000	0	0	0	△ 150,000	
ホームページ関係費	200,000	20,882	192,940	213,822	13,822	
手数料 合計	70,000	18,788	2,390	21,178	△ 48,822	
振込手数料	20,000	1,540	990	2,530	△ 17,470	
その他手数料	50,000	17,248	1,400	18,648	△ 31,352	クレジット利用月次費用(4月～9月)、会誌販売手数料
その他 合計	173,000	33,894	0	33,894	△ 139,106	
理事会費	23,000	23,894	0	23,894		オンライン、zoom利用料計上
WG会議旅費	100,000	0	0	0		学会連携関係として計上
選挙管理費	0	0	0	0		
雑費	50,000	10,000	0	10,000		男女共同参画学協会分担金
大会支援費	100,000	0	0	0	△ 100,000	
大会会計繰入金	0	0	0	0	0	
支出合計(C)	4,273,000	1,197,895	2,240,335	3,438,230	△ 834,770	
次期繰越収支差額(B-C)	4,029,856	3,145,960	1,434,595	4,580,555	550,699	

監査報告書


「野生生物と社会」学会
会長 鈴木正嗣 殿

「野生生物と社会」学会会則および会計監査実施基準に基づき、2020年度の収支決算書の監査を実施いたしましたので、下記の通り結果を報告いたします。

記

異常が無いことを認める。

監査年月日： 2021年 6月 27日

監査(自署) 丸山哲也 

監査(自署) 岸本真弓 

以上

資料 2

2021年度「野生生物と社会」学会事業計画・予算案

1. 会員

会員区分	個人	青年	団体	賛助	合計
2020年度当初会員数	388	109	7	15	519
新入会員数	4	4	0	0	8
退会者数	△ 20	△ 34	0	0	△ 54
会員区分変更者	7	△ 7	0	0	7
2020年度末会員数	379	72	7	15	473
増減	△ 9	△ 37	0	0	△ 46

※賛助会員口数は2021年度3月末時点で16口

2. 会議

- 理事会 2021年 5月 9日 オンライン会議
 2021年11月 日 岐阜大学（オンライン会議）
 総 会 2021年11月 日 岐阜大学（オンライン会議）

3. 大会

- 第26回大会 2021年11月3-8日 岐阜大学（オンライン開催）

4. 学会誌等

- 学術誌 通年 9巻（J-STAGEにて順次掲載、2021年1～12月搭載分が対象）
 2022年 3月 9巻冊子体発行予定（希望会員への有償配布）
 WF誌 2021年 8月 26巻1号発行予定
 2022年 2月 26巻2号発行予定

5. 部会活動等

- 各部会提出資料を参照

6. 表彰

- 学会賞、若手奨励賞について公募（4月～）、選考を経て11月に表彰予定
 学会功労賞は理事による推薦で11月に表彰予定

7. その他

- 環境社会学会との連携・会員相互交流の促進

資料 2

「野生生物と社会」学会 2021年度予算案（2021年4月1日～2022年3月31日）

【1. 収支計算書】

科目	2021年度予算額	2020年度予算額	増減 (2021-2020)	2020年度決算額 (参考)	2019年度決算額 (参考)	2020年度決算額 との比較	当年度予算備考
会費収入 合計	3,811,000	4,285,000	△ 474,000	4,004,000	4,392,000	△ 193,000	
～前年度会費	100,000	100,000	0	120,000	144,000	△ 20,000	
当年度会費	680,000	1,000,000	△ 320,000	688,000	934,000	△ 8,000	
次年度会費	3,031,000	3,185,000	△ 154,000	3,196,000	3,314,000	△ 165,000	
雑収入 合計	10,020	10,010	10	10,935	11,123	△ 915	
電子図書著作権料	0	0	0	0	0	0	
バックナンバー	10,000	10,000	0	10,910	11,108	△ 910	
預金利子	20	10	10	25	15	△ 5	
その他	0	0	0	0	0	0	
雑誌関係収入	226,000	244,000	△ 18,000	227,004	253,376	△ 1,004	
雑誌売上	10,000	10,000	0	11,004	19,376	△ 1,004	
雑誌広告	216,000	234,000	△ 18,000	216,000	234,000	0	
大会会計繰戻金	0	0	0	0	16,982	0	
当期収入合計(A)	4,047,020	4,539,010	△ 491,990	4,241,939	4,673,481	△ 194,919	
前年度繰越額	4,580,555	3,776,846	803,709	3,776,846	3,322,595	803,709	
収入合計(B)	8,627,575	8,315,856	311,719	8,018,785	7,996,076	608,790	

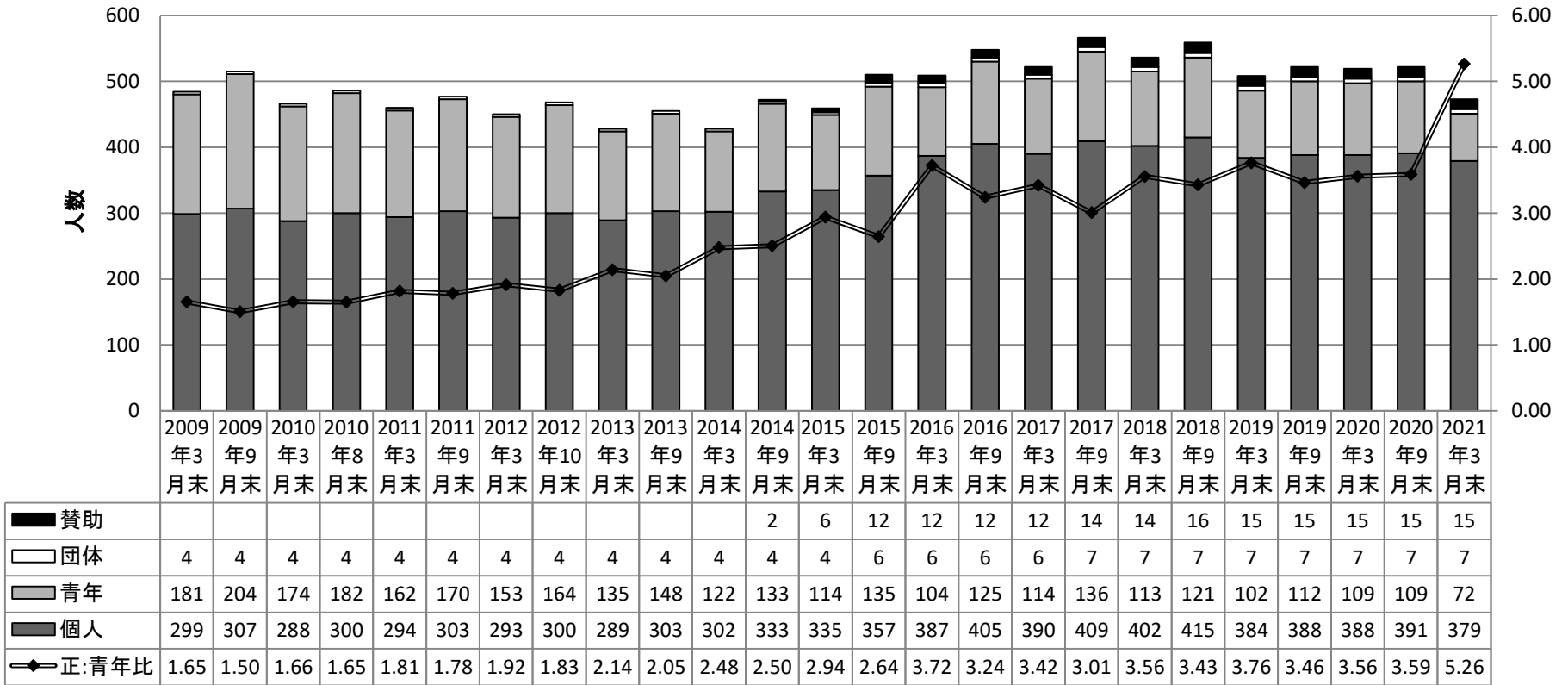
科目	2021年度予算額	2020年度予算額	増減 (2021-2020)	2020年度決算額 (参考)	2019年度決算額 (参考)	2020年度決算額 との比較	当年度予算備考
会誌発行費 合計	1,870,000	1,320,000	550,000	1,262,737	1,509,813	607,263	
総合誌印刷費	160,000	150,000	10,000	154,000	369,700	6,000	有償配布+寄贈分
J-STAGE掲載費	150,000	100,000	50,000	30,800	26,400		F誌過去分掲載費込み
F誌制作費	1,350,000	1,000,000	350,000	975,700	951,748	374,300	過去分J-STAGE用編集費
総合誌編集事務費	110,000	70,000	40,000	102,237	68,321	7,763	
総合誌編集会議旅費	0	0	0	0	93,644	0	オンライン会議に変更
F誌編集委員会費	100,000	0	100,000	0	0	100,000	R2より名称変更、会議費含む
会誌発送関係費	90,000	100,000	△ 10,000	88,230	98,718	1,770	
事務局運営費	160,000	300,000	△ 140,000	157,369	292,551	2,631	
委託料	1,660,000	1,660,000	0	1,661,000	1,649,900	△ 1,000	
会員業務	440,000	440,000	0	440,000	436,000	0	
事務局設置費	55,000	55,000	0	55,000	54,500	0	
会計業務	660,000	650,000	10,000	660,000	654,000	0	
フォーラム誌投稿窓口	66,000	65,000	1,000	66,000	65,400	0	
編集業務	440,000	450,000	△ 10,000	440,000	440,000	0	
青年部会費	0	200,000	△ 200,000	0	200,000	0	
行政部会費	0	0	0	0	0	0	
ホームページ関係費	758,800	200,000	556,800	213,822	182,431	542,978	デザインリニューアル作業予定
手数料 合計	30,000	70,000	△ 40,000	21,178	64,325	8,822	
振込手数料	5,000	20,000	△ 15,000	2,530	13,386	2,470	
その他手数料	25,000	50,000	△ 25,000	18,648	50,939	6,352	
その他 合計	95,000	725,000	△ 630,000	33,894	207,492	61,106	
理事会費	25,000	25,000	0	23,894	157,070	1,106	オンライン、zoom利用料等計上
WG会議旅費	0	100,000	△ 100,000	0	0	0	
学会賞関連経費	50,000	50,000	0	0	0	50,000	大会中止のための無し
青年会員緊急支援費	0	500,000	△ 500,000	0	0	0	
選挙管理費	0	0	0	0	40,422	0	
雑費	20,000	50,000	△ 30,000	10,000	10,000	10,000	
大会支援費	100,000	100,000	0	0	14,000	100,000	
支出合計(G)	4,761,800	4,675,000	86,800	3,438,230	4,219,230	1,323,570	

次期繰越収支差額(B-C)	3,865,775	3,640,856	-	4,580,555	3,776,846	-
単年度収支差額(A-C)	△ 714,780	△ 135,990	-	803,709	454,251	-

<会計に関する備考>

- ・フォーラム誌のJ-STAGE未掲載巻号について本年度より掲載を順次開始。経費50万円を計上。
- ・HPのデザインリニューアルを検討。例年より経費約50万円を増額。
- ・引き続き春の理事会はオンライン会議とするため予算削減。他の委員会・部会会議についても同様。

「野生生物と社会」学会 会員数の推移



資料3

令和3年度「野生生物と社会」学会誌編集委員会・理事会報告資料

1) 学会誌発行状況

7巻1号 2020年3月発行

掲載論文数：原著論文3、事例報告1、短報1

8巻 2021年3月発行

掲載論文数：原著論文3、事例報告2、データペーパー2

9巻 2022年3月発行予定

受理（幹事校正中）：原著論文1、事例報告3

査読中：原著論文2、短報1、事例報告1、データペーパー1

○論文投稿数

2019年11本（うち却下・取り下げ4）

2020年18本（うち却下・取り下げ10）

2021年4月まで7本（うち却下・取り下げ2）

2) メール会議等の報告

(1) 原稿の書き方の修正

投稿論文の本文中で引用に「私信」と記載されていることがあり、著者によって記載形式がまちまちであるため指定するべきか検討しましたが、「私信」は公開されている情報ではなく、第三者が検証しにくいものなので基本的には推奨されていません。

そこで、記載形式は指定せず、「文献の引用」の冒頭に「引用は、原則として公表されたものから行う。」と加筆する修正をしました。

こうすることで、私信はできるだけ引用を避けること、どうしても私信のような公開されない情報をふまえる場合は、その妥当性を含めて例外として対応可となる。

(2) 原稿の書き方の修正（正副編集長で協議中）

オンラインジャーナルに掲載された論文の場合、番号のみでページ番号がない例が多い。その場合の書き方も明示した方がよい。

論文番号のみをページに代えて書く、またはDOIを付す。

3) その他

(1) 査読プロセスの改善点について

- ・査読前のスクリーニング（投稿数の増加に伴いスクリーニングも必要になっている）

資料3

- ・査読候補者のリスト作成（学際的な論文が増えており、適切な査読者選定の負担増加）

(3) J-STAGE DATA の利用について

利点：データペーパーの格納や検索がしやすくなる

問題点：

- ・原稿の書き方の改正（キーワードやタイトルで英文をつける）が必要
- ・印刷会社で対応できるか不明なので予算的なものを含めて確認する必要がある

(3) 特集の企画について

Wildlife Forum 誌編集委員会 資料

編集委員長 三ツ井 聡美

1. 2021 年度編集委員会活動状況

体制は昨年と変わらず、編集委員 10 名体制で活動中です。

【編集委員】

編集長：三ツ井（富士山研）、

副編集長：田代（和歌山大・丹波篠山市）、關（玉川大）、満尾（新潟大）

編集委員：草刈（リアル・コンサベーション）、新（金沢星稜大）、藤井（広島県）、
佐々木（宮城県）、寫本（日獣大）、松田（栃木県）

【編集会議】

第 1 回編集会議

オンラインで 5 月下旬に開催

主な議題：26 巻 1 号の進捗確認、26 巻 2 号の誌面構成・担当決め、
編集作業の確認・今後の方針（新コーナーの検討など）

2. F 誌刊行状況・編集状況

【2021 年度】

春夏号：26 巻 1 号 700 部を 2021 年 8 月に配布済み

3. 新コーナーの設立について（報告）

26 巻 1 号より、新コーナー「みらいにつながるパートナーシップ」がスタートします。

4. 刊行済み F 誌の J stage 掲載について

三役および幹事の変更

新幹事：金丸太一氏（環境省南アルプス自然保護官事務所）

1: R2 報告

官民学による野生生物問題への取り組み with コロナ

【企画名】官民学による野生生物問題への取り組み with コロナ

【担当幹事】相澤あゆみ，七条知哉，遠藤友彦，久保雄広

【日時】2020年10月31日（土）15：00～18：00

【開催方法】オンライン（Zoom）

【参加団体】

合同会社 AMAC，パシフィックコンサルタンツ株式会社，株式会社野生鳥獣対策連携センター，滋賀県立大学，農研機構中央農業研究センター，福島県耶麻郡猪苗代町役場

【参加者】

40名（学生：29名，社会人：2名，演者：6名，スタッフ：3名）

【主な企画内容】

各演者が職種について①所属紹介，②業務内容，③コロナの前後での働き方の違い，④学生への一言という発表構成に沿って，20分間で紹介を行った。質疑応答では学生から，雇用形態や福利厚生などの具体的な質問があげられ，各演者からより詳細な説明も行われた。

【支出について】

項目	金額	備考
謝金	¥8,000	合同会社 AMAC
	¥5,000	農研機構中央農業研究センター
雑費	¥692	謝金手数料、依頼文送料
合計	¥13,692	

1: R3 報告

オンラインシンポジウム - 「空間スケールに応じた野生動物管理」

【担当幹事】中村、池田、後藤、東口、加藤（敬称略）

【日時】2021年1月23日（土）13:00～16:00

【開催方法】オンライン（Zoom）

【公演者】

西野雄一さま（MOE）、岩城光さま（千葉県）、山中成元さま（滋賀県）、千本木洋介さま（南会津町）、鈴木正嗣先生（岐阜大）

【参加者】

56名程度（学生：1/4程度；学会員：4割程度）

【主な企画内容】

行政に焦点を当て、国や都道府県、市町村という複数スケールでの野生動物管理に対する取り組みと課題を提供し、今後の日本の野生動物管理を担う若い人材に現状を把握してもらうことを目的にシンポジウムを開催した。

環境省、千葉県、滋賀県、南会津町の担当者より、スケール別にみた野生動物管理の取り組みについて、報告いただいた。また、コメンテーター（岐阜大・鈴木先生）より、特色のある取り組みについて整理いただいた。質疑応答も活発に行われ、盛況な回となった。

【支出について】

項目	金額	備考
雑費	¥336	依頼文送料
合計	¥336	

1: R3 計画

青年部会幹事会 (オンライン)

- 2021 年度予算・企画の相談：5 月中を予定
- 大会企画の検討や選挙に関する相談：9 月中を予定

大会シンポジウム&エクスカージョン (企画段階)

2021 年度の岐阜大会に合わせて青年部会でシンポジウムを企画予定。

さらに現場セミナーの代わり、エクスカージョンなどをできないか検討中

その他オンライン交流会・シンポジウム (2~3 回程度を予定)

*10 月・1 月に実施されたオンラインシンポジウムにおけるアンケート調査によるとオンラインでの開催に対する需要は大きそう。)

- オンライン研究交流会 「緑の場と人々～自然と社会の関わりとは～」 (仮)

国立公園のような自然公園から、都市の公園や緑地にいたるまでの様々な緑の場において、自然と人間がどのような関係を築いているか、研究交流を行う。

演者は、若手の研究者、学生を中心に募る。各自の研究について発表し合い、それらを議論・交流する場を設ける。

決算報告資料

収支報告書
 「野生生物と社会」学会青年部会2020年度決算案
 会計報告責任者: 加藤恵里(滋賀県立大学)
 作成年月日: 令和3年3月11日

単位: 円

	科目	予算額	単価	数量	決算額	増減(決算-予算)	備考
収入の部	(基本収入)						
	令和1年度繰越金	215,487			215,487	0	
	令和2年度支援金	200,000			0	△ 200,000	
	(事業収入)						
	現場企画	40,000			0	△ 40,000	
	シンポジウム企画	20,000			0	△ 20,000	
(その他)							
雑収入	0			0	0		
	収入合計	475,487			215,487	△ 260,000	

	科目	予算額	単価	数量	決算額	増減(決算-予算)	備考
支出の部	(事業支出)						
	現場企画	200,000			13,000	△ 187,000	オンラインセミナー謝金
	シンポジウム企画	80,000			0	△ 80,000	
	大会企画	150,000			0	△ 150,000	
	(事務・その他)						
	交通費	30,000			0	△ 30,000	
	文具	2,000			0	△ 2,000	
	雑費	2,000			1,248	△ 752	振込手数料、郵送料
	通信費	0			22,110	22,110	ZOOM
		支出合計	464,000			36,358	△ 427,642

	科目	当初予算額			決算額	増減(決算-予算)	備考
	収入合計	475,487			215,487	△ 260,000	
	支出合計	464,000			36,358	△ 427,642	
	収支差額	11,487			179,129	167,642	

予算報告資料

収支報告書

「野生生物と社会」学会青年部会令和2年度予算案

会計報告責任者: 加藤恵里(滋賀県立大学)

作成年月日: 令和3年3月11日

単位: 円

	科目	予算額	単価	数量	決算額	増減(決算-予算)	備考
収入の部	(基本収入)						
	令和3年度繰越金	179,129				△ 179,129	
	令和4年度支援金	200,000				△ 200,000	
	(事業収入)						
	現場企画	40,000				△ 40,000	
	シンポジウム企画	0				0	
(その他)							
雑収入	0					0	
	収入合計	419,129			0	△ 419,129	

	科目	予算額	単価	数量	決算額	増減(決算-予算)	備考
支出の部	(事業支出)						
	現場企画	200,000				△ 200,000	
	シンポジウム企画	60,000				△ 60,000	
	大会企画	100,000				△ 100,000	
	(事務・その他)						
	交通費	30,000				△ 30,000	理事会旅費
	文具	2,000				△ 2,000	
	雑費	2,000				△ 2,000	
	通信費	25,000				△ 25,000	Zoom
		支出合計	419,000			0	△ 419,000

	科目	当初予算額			決算額	増減(決算-予算)	備考
	収入合計	419,129			0	△ 419,129	
	支出合計	419,000			0	△ 419,000	
	収支差額	129			0	△ 129	

2020 年度事業実施報告
(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

I 事業計画

1. 部会総会の開催

12 月 19 日(日)11 時より WEB にて開催。

事業報告等のほか、2021 年 4 月～2024 年 3 月任期の役員の選出を行った。選出された役員は別紙のとおり。

2. 第 26 回「野生生物と社会」学会・テーマセッションの開催

2020 年度は学会大会が中止となったため、実施していない。

3. 研究会の開催

部会自主企画セミナーとして以下のテーマで開催した。近日中に Youtube で、申込者、会員に公開予定。

また、セミナー参加者へ行政ニーズに関連するアンケート回答を依頼した。今後回答結果をとりまとめる予定。

テーマ:「鳥獣行政最前線への専門的人材の必要性～全国の「鳥獣専門員」の活動から～」

日時:2021 年 3 月 14 日(日) 13 時～15 時 30 分

開催方法:Zoom 利用によるオンラインセミナー

参加者数:108 名(参加申込者数 196 名)

※セミナー動画を、参加申込者には 5 月上旬、一般には 6 月 1 日に公開予定

4. 野生生物行政に関する情報源情報の整備

平成 23 年度および 24 年度に実施した「鳥獣行政」「野生生物保護行政」のアーカイブを引き続きホームページで公開。

5. 野生生物行政に関する普及啓発手法の研究

6. 野生生物行政に関する情報の発信または提言

7. 重点プロジェクト「行政ニーズ課題プロジェクト」の設置

提案を取りまとめるための、アンケート調査の方法・フォーマット作成。研究会の際に実施済み。次年度以降、主に野生動物管理の担い手の配置に関する提言を取りまとめる予定。8. その他
2020 年野生生物 10 大ニュースの選定・発表を年末に実施。

II その他

1. 部会員名簿の管理

2021 年 3 月末日時点の会員数

部会員 114 名(2019 年度末より 4 名増)

準部会員 94 名(2019 年度末より 4 名増)

2. 来期幹事の選出

12 月 11 日開催の部会総会にて、2021 年 4 月～2024 年 3 月任期の幹事を選出。

2020 年度収支報告

(会計年度:2020年4月1日~2021年3月31日)

1. 一般会計

(歳入の部)

(単位 円)

項 目	予算	収入	支出	摘 要
1. 学会からの資金	0	0	—	「野生生物と社会」学会から
2. 2019 年度からの繰り越し金	138,899	138,899	—	
3. 雑収入	—	—	—	
合 計	138,899	138,899	—	

(歳出の部)

1. 事業費	(1)研究会の開催	15,000	—	5,000	記録動画編集手当
	(2)野生生物行政に関する情報源情報の整備	5,000	—	0	資料複写代、交通費等
	(3)野生生物行政に関する普及啓発手法の研究	3,000	—	0	交通費等
	重点プロジェクト「行政ニーズ課題プロジェクト」	54,000	—	0	資料複写、アンケート送付経費等
2. 管理費	事務作業手当	20,000	—	20,000	1名。部会員・ML 管理、会計管理等
	消耗品費	1,000	—	550	ハンコ
	会議費	3,000	—	0	会場費、茶菓等
	幹事会出席旅費	30,000	—	0	
	印刷経費	5,000	—	0	チラシ、資料作成等
	通信費	1,000	—	336	セミナー演者手続き通信費
	雑費	1,000	—	110	送金手数料
3. 予備費	899	—	0		
合 計	138,899	—	25,996		

歳入－歳出＝112,903 円

2021 年 5 月 6 日

「野生生物と社会」学会行政研究部会

部会長 横山真弓

総務 野崎英吉

奥山正樹

2021年4月1日～2024年3月31日期 行政研究部会幹事

2020年度部会総会にて以下選出した。

また、佐々木智恵氏を部会幹事の承認のもと、幹事として追加した。

役割	氏名	所属
部会長	横山 真弓	兵庫県立大学
副部会長	丸山 哲也	栃木県自然環境課
幹事	横山 美咲	栃木県自然環境課
幹事	山端 直人	兵庫県立大学
幹事	森元 萌弥	NPO 法人 Wildlife Service Japan
幹事	近藤 麻実	秋田県自然保護課
幹事	東口 阿希子	岡山大学大学院環境生命科学研究科
幹事	澤田 誠吾	島根県農林水産総務課
幹事	奥山 正樹	鹿児島大学
幹事	伊吾田 宏正	酪農学園大学
幹事	佐々木 智恵	宮城県林業技術総合センター

d

2021 年度事業計画

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

I 部会長、副部会長、幹事の選出

役割	指名	所属	
部会長	横山 真弓	兵庫県立大学	総括
副部会長	丸山 哲也	栃木県自然環境課	部会長補助・ フォーラム誌
幹事	横山 美咲	栃木県自然環境課	フォーラム誌
幹事	山端 直人	兵庫県立大学	セミナー
幹事	森元 萌弥	NPO 法人 Wildlife Service Japan	総務・行政ニーズ
幹事	近藤 麻実	秋田県自然保護課	セミナー
幹事	東口 阿希子	岡山大学大学院環境生命科学研究科	アンケート
幹事	澤田 誠吾	島根県農林水産総務課	行政ニーズ
幹事	奥山 正樹	鹿児島大学	総務
幹事	伊吾田 宏正	酪農学園大学	行政ニーズ
幹事	佐々木智恵	宮城県林業技術総合センター	フォーラム誌

II 事業計画

1. 部会総会の開催

第 26 回「野生生物と社会」学会大会にあわせて部会総会を行う。

2. 第 26 回「野生生物と社会」学会・テーマセッションの開催

第 25 回「野生生物と社会」学会において行政研究部会が主催するテーマセッションを開催する。

→セミナー担当 6 月末までに企画案

3. 研究会の開催

野生動物管理全国協議会もしくは、学会コア仮プロジェクトなどが主催する公開シンポジウムとの共催を検討。

4. 野生生物行政に関する情報源情報の整備

平成 23 年度および 24 年度に実施した「鳥獣行政」「野生生物保護行政」のアーカイブ保存し、ホームページで公開している資料の目次について、引き続きホームページで公開する。また、今後、閲覧困難な刊行物等について新たにアーカイブ保存し、公開することを検討する。

5. 野生生物行政に関する普及啓発手法の研究

6. 野生生物行政に関する情報の発信または提言

7. 重点プロジェクト「行政ニーズ課題プロジェクト」

行政部会では、平成 30 年度に各省庁に対する提案や社会に対する問題提起、法改正に向けた提言

などを取りまとめていくためのプロジェクトを立ち上げた。行政関係者と研究者が時世に応じた議論を行う場として大会を機能させるため、大会までに令和3年3月に実施したアンケート調査をまとめ、大会の議論を通じて、提案を取りまとめていく。

コアカリキュラムプロジェクトなどと連携。

その他、捕獲、資源化などニーズを議論する。

8. その他

2021年野生生物10大ニュースの選定・発表を年末に行う。

Ⅲ その他

1. 部会員名簿の管理

2021 年度収支予算

(会計年度:2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1. 一般会計

(歳入の部)

(単位 円)

項 目	予算	摘 要
1. 学会からの資金	0	「野生生物と社会」学会から
2. 2020 年度からの繰り越し金	112,903	
3. 雑収入	—	
合 計	112,903	

(歳出の部)

1. 事業費	(1)研究会の開催	15,000	講師謝金等
	(2)野生生物行政に関する情報源情報の整備	5,000	資料複写代、交通費等
	(3)野生生物行政に関する普及啓発手法の研究	3,000	交通費等
	重点プロジェクト「行政ニーズ課題プロジェクト」	28,000	資料複写、アンケート送付経費等
2. 管理費	事務作業手当	20,000	1 名。部会員・ML 管理、会計管理等
	消耗品費	1,000	文具、用紙等
	会議費	3,000	会場費、茶菓等
	幹事会出席旅費	30,000	
	印刷経費	5,000	チラシ、資料作成等
	通信費	1,000	資料郵送代等
	雑費	1,000	送金手数料等
3. 予備費	903		
合 計	112,903		

2021 年 5 月 日

「野生生物と社会」学会行政研究部会

部会長 横山真弓

報告事項 IV-9：コアカリキュラムの策定と試行

1. コアカリキュラム策定の進捗状況について

(ア)～3月：委員ならびに協力者（野生動物管理教育プログラム検討会ではオブザーバー）により、コアカリキュラム原案（別添を参照）の策定と意見聴取

(イ)3月18日：野生動物管理教育プログラム検討会

- ① 意見聴取にもとづく協議
- ② 科目の再編（統合等）と学修項目・学修内容の修正案
- ③ 今後の工程（下図）の確認

(ウ)今年度第1回野生動物管理教育プログラム検討会（5月24日～6月7日の期間で日程調整中）

- ① 3月会議にて出された意見にもとづく修正案の確認→コアカリの確定
- ② 社会実装に向けての試行や履修体制構築に向けての具体的協議
- ③ 認証のあり方やスケジュールに関する具体的協議
- ④ 本年9月のIUGBシンポジウム（ハンガリー）への参加

2. コアカリの認証にかかわるWGの設置について（協議）

野生動物管理教育プログラムの実施に向けた工程表（案）

